



社会福祉法人
つどいの家

発行日 令和 5 年 6 月 20 日発行

発行元 社会福祉法人つどいの家



地域生活サポートセンター

「ピボット若林」

仙台市若林区遠見塚 2-16-15

Tel/022-282-4671 Fax/282-4672



ほけっと通信

鳥のさえずりが聞こえる新緑の季節になりました。5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが行動制限を措置できる2類相当から行動制限のない季節性インフルエンザと同等の5類に移行しました。緊急事態宣言等行動制限の法的根拠がなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられるとされています。当事業所を利用されている利用者の方はマスク着用が難しい方が多く、感染した場合、重症化リスクが高いため今後も利用者、スタッフともにこれまで通りの感染対策が必要となります。それ故ストレスもありますが、少しでもストレスを減らすことができるような支援を心がけていきたいと思えます。

新型コロナウイルス前の様子が戻ってきたゴールデンウィーク。観光地は各地で賑わいを見せていたようです。みなさんは「松島町」で人力車が走っているのをご存知でしたでしょうか。松島町唯一の車夫として活動するAさんは3年前に松島町で人力車を始めました。「日本三景なのに人力車がないと思い松島でやろうと。めちゃくちゃ楽しませたい。芸人時代に笑いをとれなかったので松島で笑いをとってやろうと。ちゃんと喜んで頂ける人力車にしたい」と想いを語っています。この数年間は余暇の機会が減少し、余暇を楽しむことさえも躊躇する日々だったと思われまます。コロナ禍は続きますが、わずかな時間であってもワクワクした気持ちで過ごす時間を大切にしていきたいと思います。

当事業所では、昨年度地域の方々との交流ができるような取り組みとしてサロン（「風鈴作り」「ポールウォーキング」）を実施しました。今年度も継続して取り組み、少しでも多くの地域の方々に参加していただきたいと思っています。第一弾として7月に行いますのでお楽しみに。（センター長 飯田克也）



相談支援事業くれよん

新メンバーです

育休中です



4月に女の子誕生の
相談支援事業くれよんの
三浦香保里さん
ただいま育児休暇中



八木山つどいの家から異動してきました勝浦瀬璃花です。巡り巡ってピボット若林に戻ってくることができました。明るく笑顔で頑張りたいと思えます！

「とり+かえっこ」開催決定!

「とり+かえっこ」は『もうあそばないけど、まだつかえるおもちゃ。だれかにつかってもらいたい。』そんなおもちゃをもってきてポイントに交換し、変えたポイントで他のお友だちの持ってきたおもちゃに交換できる子どものためのイベントです。全国の児童館や地域のイベントで行われている「とり+かえっこ」ピボット若林でも下記の日程で開催します。それぞれの思い出のつまんだ大切なおもちゃをとりかえっこして、また楽しい思い出が増えるといいですね。

開催日：令和5年7月27日(木)10:00~13:00

場所：ピボット若林(若林区遠見塚2丁目16-15)

参加資格：小学生・未就学児



★当日参加はむずかしいけど、おもちゃはもっていきたい方のため、
7月3日(月)~14日(金)9:00~17:00の期間で
【かえるバンク】を設置しておもちゃを集めています!
(とり+かえっこ担当：グループホーム 小野麻衣)



やっさんの徒然なるままに

自分が思いもよらない発想にふれるとうれしくなりますよね?

もうすぐ4歳になる娘がいるのですが、子どもって本当に発想豊かだなあと感心します。お話しが上手になってきて、だんだん覚えた言葉の数も増えてきています。

最近、朝に保育園へお話しをしながら送っていくのですが、ある日、前日降った雨で水たまりができていた道をひとつひとつ足で踏みながら歩いていました(子どもってどうしてあんなに水たまりに興味があるんでしょうか?)。次の日、また同じ道を歩いていて前日あった水たまりがほとんど乾いてしまって残念そうに歩いていました。しかし、かすかに道に残る水のあとを発見!そして一言、

「水たまりの足あとだね!」。

また一つ発想の豊かさにふれた朝になったのでした。

(サービス管理責任者 佐藤靖志)



相談支援事業くれよん

ぴぼっと若林の中には「くれよん」という障害者相談支援事業所があります。しょうがいのある方も地域で生活していけるようお手伝いできればと思っています。どういうサービスがあるのか、どんな事業所や作業所があるのか知りたい。グループホームってどんなところ?一緒に見学をしてもらいたいなど知りたいこと、手伝ってほしいことがありましたらくれよんにご連絡ください。

(くれよん 菅原森音)